《担当者名》加藤 敬太（非）

【概要】

本授業の目的は、「マネジメント論＝経営学の楽しさ」を知ってもらうことである。経営学は、経営活動の実践の場での論理的な発想を身に付けるための学問という特徴がある。実践と経営学は表裏一体のため、経営学を身に付けることは世の中を見つめる目を養うことにもつながる。講義内では、ケーススタディとディスカッションも行う予定である。医療分野においてもマネジメント論の重要性や関心が高まっている。集中講義で一気にマネジメント論＝経営学のエッセンスを理解してもらえらる講義する。皆様の積極的な参加を期待する。

【学修目標】

「経営学の楽しさ」を知ること、そして経営学による皆さんの人生の応用力を身に付けることが達成目標である。ご自身で、この授業からヒントを得て、楽しさや応用力を自発的に身に付けていくことが重要である。達成できるかどうかは皆さん自身の授業に臨む姿勢次第である。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	授業の進め方、楽しみ方など	加藤
2	マネジメント論＝経営学とは	経営学が楽しい理由。それは価値創造の学問だから。	加藤
3	ケーススタディ	医師 アーネスト・ダルコー氏	加藤
4	経営資源の基本的考え	ヒト・モノ・カネ・情報	加藤
5	モチベーションの組織論	ヒトの動機付けとは	加藤
6	ケーススタディ	星野リゾート・星野佳路氏	加藤
7	経営戦略の基本	企業ドメイン・戦略のプロセス論・自己成就的予言	加藤
8	ケーススタディ	カルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC）・増田宗昭氏	加藤
9	企業家活動の4類型	イノベーションとビジネスモデルの創造	加藤
10	初日・2日目の総括・ミニレポート	ディスカッション・質疑応答・ミニレポート	加藤
11	ミニレポートのフィードバック	レポートの内容にすべてお応えします。	加藤
12	経営と社会性とケーススタディ	ユーグレナ・出雲充	加藤
13	経営と社会性とケーススタディ	マザーハウス・山口絵理子氏	加藤
14	最新の経営学：組織美学	担当者の研究内容である「組織美学」について解説します。組織美学は、感性の経営学と言われる分野です。	加藤
15	3日間の総括・最終ミニレポート	ディスカッション・質疑応答・ミニレポート	加藤

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

集中講義内で2～3回のミニレポートを課す予定である。A4 1枚に自由記述の簡単なミニレポートとなる。成績は、このミニレポートと授業中の発言によって評価する。（100％）

【教科書】

特になし。授業で使うパワーポイントと関連文献・資料を配布する。

【参考書】

適宜、授業内で紹介する。

【学修の準備】

集中講義期間に、授業中に取ったノートをしっかり復習すること。（復習2時間）
関連文献について調べる。（予習2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

医療関連法人のアドバイザー経験がある。

【実務経験を活かした教育内容】

医療関連法人のアドバイザーの経験を踏まえて、担当者が認識している医療従事者にとってのマネジメント論 = 経営学の重要性を受講生の皆さまと共有できればと思う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している